

教育学会第54回大会

11月23日（木）神田キャンパスで開催

講演テーマは「義務教育・現場からの課題」

教職に就いている卒業生の学会である、専修大学教育学会第54回大会が11月23日（木）、10時から神田キャンパスで開かれる。研究会は例年と異なり、分科会形式ではなく全体で行い、13時45分からの講演会は35年間小学校教諭を務めた岩田公夫氏（昭45文・教育学会顧問）が「義務教育・現場からの課題」をテーマに講演する。講演の要旨は次の通り。

要旨

「世の中での生活スタイルの変化が現代の子供たちの育ちに大きな影響を及ぼしています。

子供が影響を受ける最初の社会は家庭であり、両親です。その親の価値観・道徳観が小学校入学前までにしっかりと植えつけられてくるのです。小学校の授業参観のとき、授業が始まる5分前に校内放送で『あと5分で授業が始まりますが、授業の妨げになりますので携帯電話の電源をお切りください。また、ガムやお菓子等を食べながらの参観はご遠慮ください』といったような放送を流さざるを得ない状況になっています。

また、マスコミの影響なのか、すぐ「訴えてやる」が教育現場でも頻繁に見られます（中略）。このような価値観・道徳観を持った親に育てられてきた子供たちを預かる学校、担任は苦勞が絶えません。

しかし、子供たちを目の前にしている教師にとって、手をこまねいているわけにはいきません。では、どうすればいいの？ 皆さんと共に考えてみたいと思います」

お問い合わせ＝専修大学学務課 電話 044(911)1253

創立130年記念事業「文化講演会」

山形と郡山で開催

専修大学創立130年記念事業の一環として、山形市と郡山市で左記のとおり文化講演会を開催する。山形会場は、校友会山形支部50周年記念講演会として開かれる。郡山会場では、福島県出身の2教授が講演する。

【山形会場】

- ▼日時＝10月28日(土)15時30分～
- ▼会場＝山形グランドホテル(山形市本町1—7—42)
- ▼講演テーマ・講師

- ◎「学問と人生—大学教育のあるべき姿を求めて—」日高義博学長
- ◎「夢への挑戦」堀井学氏(平6商)リレハンメル五輪スピードスケート500メートル銅メダリスト

【郡山会場】

- ▼日時＝11月4日(土)16時30分～
- ▼会場＝郡山ビューホテル(郡山市中町3—1)
- ▼講演テーマ・講師

- ◎「若者と仕事—大学改革の現場から—」高橋祐吉副学長
- ◎「少子化社会の中の家族と家族法」木幡文徳法学部長

≪校友の本 紹介≫

タクラマカン

萩野矢 慶記…写真・文

ギリシャ本土やエーゲ海の島々を撮りつづける写真家・萩野矢慶記さん(昭36商経)が『タクラマカン シルクロードのオアシス』(東方出版・本体2800円+税)を出版した。今作ではタクラマカン砂漠を中心に東西交易の懸け橋となったシルクロードの風景や、そこで暮らす人々を写真と文章で紹介している。



月経と犯罪 - 女性犯罪論の真偽を問う 月経をアンネと呼んだ頃

田中 ひかる著

田中ひかるさん(平13院文修・現在は横浜国立大学大学院博士課程在学)が著した『月経と犯罪』(批評社・本体1800円+税)が話題となっている。

いまだに社会通念として浸透している女性犯罪における「月経要因説」の根拠は何であったかを内外の文献を通して明らかにすると、それは驚くほどあいまいなものだった。本書では、女性犯罪論が誕生した時代的背景も解き明かしている。



本学大学院で「女性史」を専攻する中で「月経にこだわり社会を見つめる」ライフワークに出合ったという。7月には『月経をアンネと呼んだ頃』(ユック舎・本体1600円+税)も刊行した。

《専大校友を訪ねて》

ゴルフを通じて親と子の夢を育む

—子供たちの心の育成にもひと役「エパックファミリーゴルフスクール」社長
菅野 有子さん(昭58文)

ゴルフ部出身。卒業後5年ほどトーナメントプロとして活躍。結婚で引退し、2人の子供を育てながら一念発起し、筑波大学大学院修士課程に進学。体育方法学スポーツ心理学研究室で「ゴルファーのためのメンタルトレーニングの開発」を修めた異色ゴルファーだ。

1999年に母親同士のつながりで17人のレッスンを始めたのがきっかけで、01年に現在のエパックファミリーゴルフスクールを設立、取締役社長に就任した。エパックの名称はエポックメーカー(次世代=未来を開く)という言葉を用いている。現在は2カ所の練習場で、50数人の子供を技術別の5クラスに分け、指導しているほか、お母さんたちにも手ほどきをしている。



年に4回、ショートコースで親子大会を開き、そのあと自営の畑で野菜を収穫したりして、子供たちの心の育成にもひと役買っている。「ゴルフを通じた親子の絆の深まりと、家族間の楽しい交流が大きな柱です」と言う。そのほか、ゴルフレッスンの教科書「3歳からのミラクルドリル」を発刊したり、生徒のホームページを開設、親たちがパスワードを使って子供のゴルフの上達を目で確認できるシステムも好評だという。

さらに来年11月にはJR浦安駅から車で約5分のところに新規の練習場をオープンする予定で「レッスン主体の特色あるスクールを目指したい」と語る。また、歯科医のご主人の病気体験から、身体の不自由な人にも楽しめるプログラムも開発中という。

高校2年で全日本ジュニアに出場しながら1日15時間も勉強し、専大では国文学科(当時)の柘植光彦ゼミで優秀な成績を収め、教職の免許も取得したという、まさに“文武両道”の鏡。

「中2の長女は70台で回りますが、小5の二女は残念ながらバレーが趣味なんですよ」と、母親の表情に戻ったときが一番幸せそうだ。